

2022年度 横浜人形の家指定管理者業務評価表（自己評価・行政評価）

※実績のチェック欄（数値目標のみ記載）について：目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		2022年度計画		実施状況		評価			
事業についての計画	指定管理者提案（要旨）	取り組み内容	達成指標	実績	説明	自己評価	行政評価		
(1) 諸室を活用した各種事業の実施	ア	常設展示室を活用した取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●継続して展示ストーリーの見直しを図ります。実物展示だけでなく、体験展示、解説展示を随時更新します。</li> <li>●訪れるたびに变化のある展示。季節・時事にあわせた展示更新や「現代」の人形を伝える展示更新。</li> <li>●展示を活かす教育普及プログラムを実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■人形の実物展示に加え、人形の背景を分かりやすく伝える解説パネル、関連するもの、映像、資料、色など展示に合わせ更新します。</li> <li>■いつも新鮮な出会い・発見がある、来るたびに新しいと感じられるように、テーマやトビックスを設定し展示更新を行うコーナーを設けます。</li> <li>□年6回程度(2ヵ月程度)で展示更新</li> <li>■トビックスコーナー以外も人形の入れ替えを行います。</li> <li>■学校団体向けプログラムの実施</li> <li>□体験型プログラムを7種類提供</li> <li>■学校との事前打合せに基づき、可能な限り、学校側の要望を取り入れます。</li> </ul>	解説パネル、パンフレットなど設置を実施  トビックスコーナー6回 ロボットケース 3回  常設展示入替 4回  団体数 2団体  随時要望に合わせ実施	解説パネル、パンフレットなど設置を実施  トビックスコーナーでは35周年記念展、東京オリンピック関連展示、ロボットケースでは第二企画展と連動した展示を実施  大型の常設展示市松人形展や人形劇団関連展示などを実施  上期に2団体実施  学校の先生と個別に打合せを丁寧に行い、個々の要望に応えられるよう調整や変更を行い、利用者の要望に合わせた対応を実施	【成果】 新型コロナウイルスの影響や政情不安で燃料費が高騰するなど、非常に厳しい1年間であった。新型コロナウイルスの影響で入館者数も厳しい状況のため本年度も費用の削減を行いながら計画通り、企画展を4本「メルちゃんといっしょ！30周年記念展」「中原淳一と人形展」「少女ノスタルジック展-昭和30～50年代の思い出展」「子供とおひなさまーひな人形と有職造花の饗宴ー展」を開催した。第二企画展を3本「春日明夫コレクション」「カラフルメキシカントイ&ドール展」「momoko20周年記念Exhibition momokoはアイドルなんですよね？展」「こけしの世界展」を開催した。「あうたびに、おもしろい」企画展がいついっても何か行っているよう、展示期間を工夫調整し開催した。  常設展示入替えについても積極的にテーマバラエティ豊かな展示を実施。6月からは当館の目玉である平田郷陽の展示を3階常設展示にて開催。トビックスコーナーでは五月人形やからくり人形、メーカーと連携しただんごフレンズなど多くのテーマを幅広く展示。また、人形劇団と連携した「台北木偶劇団布袋劇人形展」「人形劇団ゴゴロ「14ひきシリーズ劇人形展」など、その他多数の展示を行った。  企画展関連プログラムに関しては新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら行なうため安全確保をしながら実施した。特に今年度はお子様にも楽しんでいただけるような関連プログラムも多く企画、ゴールデンウィークは特に混雑し多くのお客様に来院いただいた。また、大人向けに「オリジナルのこけしづくり」や「人形コレクターのトークショー」など子ども向けに偏らないよう工夫をした。また、SNSの有料告知なども積極的に実施した。	【評価できる点】 常設展と企画展において、年間を通じて多彩な展示がなされている。また、企画展と連動したトークショーやワークショップ等のイベントを行い、作品展示に留まらず館内を楽しめる工夫があった。 SNSなど多くのツールを使って積極的に広報を行っており、集客に繋がっている。  【改善が必要と考えられる点】 新型コロナウイルスの第5類への移行に伴い、観光需要の回復が見込まれるため、効果的に広報を実施することで、しっかりと集客につなげていくことを期待する。	
	イ	企画展示室を活用した取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●繁忙期の満足度アップ、閑散期の集客などを考え、企画展を3つの種類(特別展・テーマ展・レギュラー展)に区分し、実施します。</li> <li>●企画展と連動したプログラムを実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□大小さまざまな企画展年間4本実施します。</li> <li>■関連プログラムの実施</li> <li>企画展のテーマに関連して、ワークショップなど各種の関連プログラムを開催します。</li> <li>■無料のものだけではなく、参加費を徴収する有料プログラムも実施します。</li> <li>□有料10回以上/年</li> <li>□無料6回以上/年</li> <li>■会場でアンケートを行い、次回の企画展などに活かします。</li> <li>□4回/年</li> </ul>	(特別展)メルちゃん30周年展、中原淳一展(テーマ展)宇山コレクション展(レギュラー展)ひな人形展 合計 4本  19事業  有料 12回、無料 8回  4回	B  B  A  B			企画展はすべて実施  体験型プログラムの利用者が多く、募集人数を大きく超えるプログラムもあった  多数のイベントを行うことで、情報発信も多くなり集客につながっている。  アンケートの回収対策として、オリジナルポストカードプレゼントも実施し、一人でも多くのお客様の声を回収
	ウ	あかいくつ劇場を活用した取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人形劇の可能性を広げるとともに、より多くの方に人形劇に親しんでいただくため各団体と連携した取組みを行います。</li> <li>●人形劇に留まらず多様な公演の実施を行います。</li> <li>●貸室以外の時間を活用します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■人形劇団の情報を提出します。</li> <li>■企画展と連動したショーを実施します。</li> <li>■ピアノコンサートを実施いたします。</li> <li>■横浜市と連携した公演を実施します。</li> <li>■団体向け休憩場所として提供します。</li> </ul>	公演 5回  トークイベント 5回、キャラクターショー1回  音楽コンサート 12回 音祭り連携公演中止 団体昼食利用1回、抽選会2回	複数の団体と連携し、子どもから大人まで幅広い年代が楽しめる公演を実施した  多種多様な事業をあかいくつ劇場で実施。使用率や認知度向上にもつながった  毎月開催し固定のファンがついた 出演者の体調不良で中止 団体昼食利用も1団体あった			
	エ	多目的室・プチギャラリーなどを活用した貸室以外の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多目的室やプチギャラリー等の稼働率を高めるため、貸室以外の時間を各種の講座・講習のための部屋、第2の企画展示室、交流サロンなどとして活発に活用します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■多目的室</li> <li>3階の企画展示室とは別テーマの企画展を同時に開催します。</li> <li>■プチギャラリー</li> <li>情報コーナーとして各種施設のチラシ設置やスタンブラリーなどの地域連携PRスペースとして活用</li> <li>■イベントスペース</li> <li>誰もが気軽に参加し楽しめるイベントを開催します。</li> </ul>	3企画展4事業  企画展関連展示2事業 協力展示1事業 大学連携展示1事業 高校連携展示1事業  イベント実施回数 38回	イベントや第二企画展を積極的に行ない、多目的を活用し、認知度向上にもつなげた  企業連携など多種多様な企画を積極的に行ない、多目的に活用し、認知度向上にもつなげた  多種多様な企画展連動イベントや体験イベントを多数実施した			
オ	活発な情報発信と広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●積極的かつ地道できめ細かな広報活動で、来館者数を拡大します。</li> <li>●PR活動を実施いたします。</li> <li>●新型コロナウイルスの影響を受けない活動を実施</li> <li>●観光に関する情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市や民間と連携し施設案内の充実を図ります。</li> <li>□プレスリリースの定期的な発行</li> <li>4回/年発行</li> <li>■各イベントのターゲットに適した媒体の情報収集とアプローチを行います。</li> <li>□施設案内やイベント情報の提供としてDOLL NEWSを発行し、横浜市小学校、近隣施設へ配布。1回/年発行</li> <li>■SNS(Twitter,Instagram,Facebook)によるタイムリーな情報発信を行います。</li> <li>□SNS(Twitter,Instagram,Facebook)の年間投稿回数を目標に向けて取り組みます。</li> <li>Twitter 400回、Instagram 30回、Facebook 70回</li> <li>■横浜市と連携し横浜駅に告知掲出。</li> <li>■関連施設等で、パンフレットの設置などPR活動を行います</li> <li>■観光情報コーナーの設置</li> <li>エントランスホールの一隅に観光情報コーナーを設けます。</li> <li>■市や横浜観光コンベンションビューローと連携して、最新情報を提供いただき、スタッフに周知し、観光情報の案内を行います。</li> </ul>	DOLL NEWS 2回発行、横浜駅広告 1回 web 192回、テレビ 6回、ラジオ 7回 新聞 27回、雑誌 8回、その他2回  年7回発行  Doll News 2回発行  Twitter 565回、Instagram 90回 Facebook 70回  1回掲載  近隣・関連施設へのパンフレット設置配布 12回、ハマフェス 1回、キャンペーン協力 2回  情報コーナー、図書コーナー設置  告知物の設置、観光情報案内の実施	A  A  A  A	積極的にプレスリリースの発信を行った結果、テレビ・新聞など媒体力の高いものに多く露出した  積極的にプレスリリースの発信をすべての企画展の情報を発信した  実施  タイムリーにSNSを発信し、利用者の増加に貢献した  メルちゃん展を掲載  訪問営業・大学・関連施設・市庁舎など幅広いPR活動を展開  チラシなどの情報は随時更新を行い、設置中心の告知を実施  市や横浜観光コンベンションビューローと連携しながらポスターやパンフレット、インターネットでの告知協力を実施			
【課題】 企画展を中心に魅力的なイベントや作家や先生、地域、協力団体との連携を図りながら事業を実施していく。									

2022年度 横浜人形の家指定管理者業務評価表（自己評価・行政評価）

※実績のチェック欄（数値目標のみ記載）について：目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

(2)人形文化の振興と人形劇団の支援				○プロ劇団による共催公演	■プロの劇団との共催公演を実施します。	2回実施	プロの劇団と共催公演を実施	【成果】 人形劇に関しては新型コロナウイルス感染防止対策としてあかいくつ劇場の収容人数を削減しながら公演を実施。アマチュアの人形劇は感染リスクを考え今年も一部実施を見送ったが、「新春人形劇」は開催。共催公演では「与那国町・台湾花蓮市姉妹都市締結40周年タイアップ事業 影絵芝居『鯨生〜Geio〜』」「劇団かかし座おむすびころりん」「YPAM2022フリンジ公演パントマイムシルヴブレ 第12回公演「レザニモー、ココにも」などさまざまな公演を開催。また、人形劇団と連携した「台北木偶劇団布袋劇人形展」「人形劇団ボボロ「14ひきシリーズ劇人形展」、高校生インターシップの作品展示など多数の展示や告知協力を行い全館で盛り上げていった。	【評価できる点】 新型コロナウイルス感染防止対策を適切に実施したうえで、様々な公演を開催することができている。  【改善が必要と考えられる点】 アマチュア人形劇団の活動の場として利用してもらえよう、さらなる取り組みを期待したい。		
				●アマチュア人形劇団の支援	■アマチュア劇団による人形劇を実施します。 ■掲示板の設置 公演の案内や団員募集などができる掲示板をエントランスホール及び劇場ホワイエに設置します。	1回実施	新春人形劇を実施				
				●人形文化の振興	■館の広報ツールでの紹介 館として運用するFacebookなどのSNSなどで、各人形劇団を紹介したり、各種の告知を掲載するなど広報に協力します。	随時更新	随時内容を更新し鮮度ある情報を提供				
					■空きスペースを利用して、人形劇人形の展示を行ないます。 ■職場体験などでの来館した学生の作品展示します。	2回実施 2回実施	展示物を2回更新した 高校生インターンや大学生の作品を展示				
(3) 連携事業の充実	「地域連携」「小中学校連携」「高校・大学連携」の3つの連携で、横浜人形の家を観光振興拠点・文化振興拠点としてさらに活性化させます。			○各種地域団体との連携	■山下公園地区・みなとみらい地区の観光文化施設や商業施設との連携活動を行います。 □横浜市関連イベントとの連動	集会・会議 5回 連携協力 4事業	A	多くの連携先と協力事業を実施。WEBでの連携やスタンプラリー、特典思索など多彩なイベントを実施した 多くの連携先と協力事業を実施。WEBでの連携やスタンプラリー、特典思索など多彩なイベントを実施した	【成果】 新型コロナウイルスの影響で地域イベント、会合などはまだ今年度も中止が多く、学校連携でも学校側の感染対策が強化されているため団体もなかなか増えてこない。その中でも、横浜市と連携した子どもアドベンチャーの実施や高校生によるインターシップが作成した作品を館内に展示。京都精華大学による作品発表会や横浜国立大学への協力など新型コロナウイルス感染防止対策を行ないながらできる限りの連携協力を実施した。また、今年は横浜観光コンベンションビューロー・JTBと連携しホラーツアーを開催するなど新規にもチャレンジし、総会、研修、報告会などにも参加をし情報交換も積極的に行なった。  【課題】 団体需要も増えてくることを想定し、インターシップ、職場体験、学園祭など実施要望があれば積極的に取り組んでいく。	【評価できる点】 例年の取り組みに留まらず、積極的に新規の取り組みを実施している。  【改善が必要と考えられる点】 要望の増加に対応するとともに、引き続き積極的に横浜観光コンベンションビューローや近隣観光施設である横浜マリンタワー、各種地域団体、教育機関等との連携の取り組みを期待したい。	
				○小中学校との連携	■市内の小中学校を中心に教育の場を提供します。	団体プログラム 2校 子どもアドベンチャー 1回					横浜市との連携イベントや団体ワークショップを実施
				○高校・大学連携	■要望に応じて、生徒の職場体験を受け入れます。 ■市内の大学・専門学校を中心に連携を進めます。	インターンシップ1回					高校生のインターン受入れ作品を展示
						イベント2校 作品展示1校					学生の成果発表に協力

2022年度 横浜人形の家指定管理者業務評価表（自己評価・行政評価）

※実績のチェック欄（数値目標のみ記載）について：目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		2022年度計画			実施状況		評価			
施設の運営に関する計画	指定管理者提案（要旨）	取り組み内容	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価		
(1) 集客拡大及び施設の活性化	ア 利用者数の拡大	●利用者数目標		□入館者目標37,000人	50,320	A	達成	<b>【成果】</b> 新型コロナウイルスの影響や政情不安で燃料費が高騰するなど今年度も非常に厳しい1年間であった。引き続き新型コロナウイルスの影響で入館者数も厳しい状況のため本年度も費用の削減を行いながら計画通り、企画展を4本「メルちゃんといっしょ！30周年記念展」「中原淳一と人形展」「少女ノスタルジック展-昭和30～50年代の想い出展」「節供とおひなさまーひな人形と有職造花の饗宴ー展」を開催した。第二企画展を3本「春日明夫コレクション「カラフルメキシカントイ&ドール展」「momoko20周年記念Exhibition momokoはアイドルなんてしょうか？展」「こけしの世界展」を開催した。特に上期は好調で5月は月間で7,000人を超える利用者数を獲得、年間でも目標を達成し昨年より約10,000人増加した。特にイベントは積極的に行うことにより利用者数を伸ばすきっかけにもなり、5月のワークショップはDOLL NEWSの発行とも重なり利用者数の獲得に大きく貢献した。その他、お客様への利便性向上や館の質を向上させるために、特別開館や敬老の日無料開放の実施。あかいくつ劇場や多目的室の貸館についてはお客様と個別調整を行ないながらこまめな調整運営をし、劇団との共催公演や館で使用するよう努力を行った結果、あかいくつ劇場・多目的室とも目標を達成させることができた。	<b>【評価できる点】</b> 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも昨年度よりも利用者数を伸ばすことができていたことを確認した。	
		●特別開館の実施		□繁忙期やイベント時は、特別開館を実施いたしません。8/15予定	特別開館1回 無料開放1回	B	お客様の利便性や市の方針に合わせた運営を実施			<b>【改善が必要と考えられる点】</b> 「メルちゃんといっしょ！30周年記念展」のような集客が見込める魅力的な企画展の実施を期待したい。イベントについても引き続き積極的に実施し、入館者数目標を達成につなげてほしい。
		●あかいくつ劇場・多目的室の利用促進	■貸館に関するパンフレットなどの印刷物を制作します。 ■学校、地域団体、周辺施設へご案内をします。 ■貸室利用者へは駐車場割引など必要に応じて利用者サービスの向上となる機能応変な各種サービスを提供します。	□あかいくつ劇場の目標利用率35%と設定します。(貸館含む)	あかいくつ劇場利用率 42%	A	あかいくつ劇場はお客様の利用ニーズが高いため貸室優先、多目的室は自主事業を中心とした運用を実施 両貸室共目標を達成			
				□多目的室の目標利用率を75%と設定します。(貸館含む)	多目的室利用率 89%	A				
	イ ショップ・カフェ活用したサービスの充実	●お客様目線で、ニーズに応じた商品を取り扱い、企画展へお客様を誘導する工夫をします。	●魅力あるミュージアムショップの運営	■企画展関連商品コーナーの設置	7回入替	すべての企画展、第二企画展関連の商品コーナーを展開		<b>【成果】</b> 企画展と連動したオリジナル商品の制作も積極的に行い話題づくりやショップの売上に大きく貢献した。特にmomoko dollは特別ショップも開催し、当館オリジナル商品の販売を行い、大きな売上げをあげた。駐車場は今年度よりアマノマネジメントサービス(株)が運営を行うことになり、サービスの向上と売上げアップにつなげるよう各種改善を行った。看板の変更やクレジット・電子マネー払いの導入、普通車は平日最大料金の設定など、多くの改善を行い駐車場の売上げは改善傾向にある。	<b>【評価できる点】</b> 企画展と連動したオリジナル商品の制作を実施し、情報発信等も積極的に行い、話題作りにつなげている。	
			●お客様目線で、ニーズに応じた商品を取り扱い、企画展へお客様を誘導する工夫をします。	■人気の人形関連グッズ、タイムリーな季節商品の拡充を図ります。 ■企画展と連動したオリジナル商品や先行販売など話題性に富んだショップ情報を発信します。 ■企画展スタート時など在庫が増加した際には、お客様の邪魔にならないよう臨時の保管場所を設け、在庫管理を行なう。	4企画販売実施	適時メーカー情報交換を行い、人気商品の仕入れ・販売を実施	企画展と連動したオリジナル商品の開発・販売を実施、館の魅力や収益アップに繋げている			
			●特徴を活かしたカフェの提供	■定例ミーティングを行い、情報を共有し、人形の家に対応しい飲食施設としての質とサービスを確保します。 ■シアトルで修業を積んだ日本有数のパスタによるラテアートを提供します。 ■季節行事や企画展と連動サービスを実施いたします。	5種類 ポストカードプレゼント	企画展と連動したオリジナル商品の開発・販売を実施、館の魅力や収益アップに繋げている	毎月期即しを行い、適正在庫を維持するよう調整を実施			
			●特徴を活かしたカフェの提供	■常駐スタッフによる安全管理を実施します。 ■24時間365日コールセンター機能の導入をいたします。 ■補修などの施設環境の改善 ・情報収集活動 ・安全感知活動 ・施開錠確認業務 ・点検業務	適宜実施	企画展情報や地域情報の交換、問題点などの共有、取り組みなど打合せを随時実施	実施			
	ウ 駐車場の安全管理と利用者の拡大	●利用者の安全を第一に考えた仕組みづくりを展開します。	●利用者拡大に努めます。	■ドライバーから分かり易い案内表示板の改修をいたします。 ■支払方法などの機能を追加しサービスの向上を行います。 ■近隣施設の動向に合わせ駐車場料金の改訂を行います。 ※料金改定については、利用者ニーズ、周辺の状況に応じて、適宜、見直しを図ります。	適宜対応	横浜市や警察、近隣地域などからの情報を基に管理運営を実施。施設の老朽化も進んでいるため日々の目視確認などの強化も実施		<b>【課題】</b> 企画展連動したオリジナル商品の開発と大型バスの利用数増加		
			●利用者拡大に努めます。	■常駐スタッフによる安全管理を実施します。 ■24時間365日コールセンター機能の導入をいたします。 ■補修などの施設環境の改善 ・情報収集活動 ・安全感知活動 ・施開錠確認業務 ・点検業務	高紙幣の支払い開始 クレジット支払い開始 駐車場料金変更 平日最大料金の導入（普通車） 案内看板の変更	クレジット払いや平日最大料金の導入について、利用者からわかりやすくなるよう、看板の変更や館外に誘導看板を2箇所を設置				



エ	安心、安全、安定、快適な施設の維持管理について	●人形の適切な保管のための施設管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■機器の留意点を理解した空調管理をします。</li> <li>■冬季などは加湿器を設置し温度管理を実施します。</li> <li>■破損、盗難を未然に防ぐ日常巡回を実施します。</li> </ul>		実施		施設管理にて随時実施
		●貸館・貸室の適切な貸出	<ul style="list-style-type: none"> <li>■点検記録簿を活用し、貸出備品の適切な管理を行います。</li> <li>■貸館、貸室入替え時の清掃の実施</li> <li>■国、神奈川県、横浜市のガイドラインに合わせた新型コロナウイルスの感染防止対策を実施します。</li> </ul>		実施		事務所、施設管理し定期巡回を実施
		●建物や長きに亘り利用できるような施設保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>■予防保全の考え方にに基づき、日々の点検で不具合箇所の早期発見に努めます。</li> <li>■多重チェックにより、施設補修箇所の先出しと修繕重要度のレベル分けを行います</li> <li>■不具合一覧表にて現状の不具合箇所を管理し、横浜市と調整しながら修繕を実施します。</li> </ul>		実施		施設管理にて随時実施
		●各種設備の管理保守点検の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■業務の基準に基づき、定期的な設備の点検を行います。また常駐設備員による目視点検を実施します。</li> <li>■あかいくつ劇場の点検を実施します。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 業者による点検の実施 年1回	実施	B	随時実施
		●快適な環境維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>■業務の基準に基づき、日常・定期清掃を実施し、美観の維持に取り組みます。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> ピアノの調律を実施 年1回	実施	B	随時実施
		●消防訓練を実施し、職員の防災意識向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■消防法を遵守した施設管理を行います。</li> <li>■危機管理マニュアルを必要に応じて改定し、最新のものを職員に周知するとともに、事務室内に常備します。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 消防訓練を年2回実施します	3回実施	A	消防訓練以外にも外部防災研修にも参加し、防災技術・意識の向上に努める
		●日々の現金管理を確実に実施します	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安全な現金管理を行うため、金庫内の現金を営業日に確認し、現金有高表を作成します。</li> <li>■営業日の売上げ集計は複数名で確認して、確実に実施します。</li> </ul>		実施		現金管理は日々実施
		●危険管理マニュアルを必要に応じて改定し、最新のものを職員に周知するとともに、事務室内に常備します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■危険管理マニュアルは常に最新のものを整備します。</li> </ul>		適宜対応		新たに案件が発生した際にはリバイスを実施
		●日々の現金管理を確実に実施します	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安全な現金管理を行うため、金庫内の現金を営業日に確認し、現金有高表を作成します。</li> <li>■営業日の売上げ集計は複数名で確認して、確実に実施します。</li> </ul>		実施		現金管理は日々実施
		●日々の現金管理を確実に実施します	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安全な現金管理を行うため、金庫内の現金を営業日に確認し、現金有高表を作成します。</li> <li>■営業日の売上げ集計は複数名で確認して、確実に実施します。</li> </ul>		実施		スタッフ・経理にて複数チェックを行いミスの無いよう実施

評価	
自己評価	行政評価
<p>【成果】</p> <p>新型コロナウイルスの影響や政情不安で燃料費が高騰するなど今年度も非常に厳しい1年間であった。引き続き新型コロナウイルスの影響で入館者数も厳しい状況のため今年度も費用の削減を行いながら計画通り、企画展を4本、第二企画展を3本を開催した。</p> <p>特に上期は好調で第一四半期（4月～6月）は16,500人と昨年の倍の利用者数を獲得、年間でも目標を達成し昨年より約10,000人増加し、入館収入も昨年を上回った。また、支出を抑えるために広報費、展示費、イベント費、光熱費、人件費などすべての項目に対して削減を実施。駐車場に関しては観光バスやほとバス、しずてつバス、提携ホテル利用バスなどの利用が増加し、乗用車も平日最大料金の導入などにより、昨年同様の収入を確保することができ駐車場の売上げも回復傾向となっている。最終的には全スタッフにて収入の確保や支出の抑制をできる限りの対策を実施したが、新型コロナウイルスや燃料費の高騰などの影響により収支は均衡を確保することが出来なかった。</p> <p>【課題】</p> <p>収入の増加に努め、収支の均衡を確保する</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>新型コロナウイルス感染症により影響を受ける中、支出を抑えながら、滞りなく運営を実施することができた。</p> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <p>新型コロナウイルスの第5類への移行に伴い、観光需要の回復が見込まれるため、効果的に広報を実施することで、しっかりと集客につなげていくことを期待する。</p>

評価項目		2022年度計画		実施状況	
収支予算	指定管理者提案（要旨）	取り組み内容	達成指標	実績	説明
収支予算	①収支計画 ・収支バランスの確保	①収支 収支予算計画に基づき、月ごとの実績値の管理及び分析・検証を行い、必要に応じて見直しを図りながら収支バランスの均衡を確保する。		適宜対応	毎月支出と収入の金額を把握し、金額を適時調整、収支バランスの均衡を意識し対応したが、コロナや燃料費の高騰などが影響し収支は赤字で終了
	②収入 ・事業努力による各種収入の確保	②収入 企画展をはじめとした活発な各種事業の実施及び広報活動により施設の利用者数を増やし、収入の確保を図る。		実施	企画展を中心に広報や関連イベントを実施し利用者数を確保。また、オリジナル商品の製作などショップ販売にも力を入れ収入を確保した
	③支出 ・効率的な運用コスト削減	③支出 事業費の効率的・効果的な執行。事務経費、光熱水費をはじめ日常的な経費削減に努める。		実施	人件費・消耗品・施設管理費は削減に努め、燃料費や事業費も交渉などでコストを削減した